



株式会社まちづくりとやまの取り組み

～都市再生整備推進法人の指定を受けて～

株式会社まちづくりとやま

第 1 事業部 部長 福原 武

■今、注目を集めるまち、富山市

富山市は、海拔 0m（富山湾）から、2,986m（北アルプス・水晶岳）までの多様な地形のほか、急流河川や田園地帯にも恵まれ、水と緑に囲まれた自然豊かな都市です。富山市のキャッチフレーズは「立山あおぐ特等席」ということで富山市内からどこにいても天気さえよければ立山連峰をご覧いただくことができます。平成 17 年の市町村合併により市の面積が 1,241.85k m²になりました。この広さは、大阪府の面積の約 65%にあたります。そんな富山市では今「公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり」を核に、人と地球環境に優しいまちづくりを進めています。コンパクトなまちづくりを実現するための 3 本柱を「公共交通の活性化」、「公共交通沿線地区への居住促進」、そして「中心市街地の活性化」と明確に位置づけて、様々な事業が展開されています。今回は、富山市と地域との協力体制の下、中心市街地の活性化の実働部隊として活動している、㈱まちづくりとやまについてご紹介いたします。

2 年後の北陸新幹線開業に向け、工事たけなわの JR 富山駅から南に伸びる目抜き通り、城址大通りを約 1.3km 進むと富山市中心商店街エリアで、総曲輪（そうがわ）通り商店街、中央通り商店街、西町商店街などの商店街や百貨店の大和富山店をキーテナントとした富山大和総曲輪 FERIO、富山市まちなかにぎわい広場「グランドプラザ」などがございます。㈱まちづくりとやまは中心市街地の主にこれらのエリアで事業を展開しております。

平成 21 年 12 月、富山市と富山地方鉄道は、中心市街地の中核部における回遊性の強化を図る目的で、市内電車を環状線化するために、上下分離方式で延伸整備（丸の内～グランドプラザ～西町間 900m）を行い、環状線「セントラム」として整備しました。これにより、JR 富山駅周辺と中心商店街が反時計回りに約 10 分で結ばれ、都心地区の集客施設へのアクセスが飛躍的に向上しました。



中心市街地を快走するセントラム

■(株)まちづくりとやまの概要

平成 11 年に富山市が富山市中心市街地活性化基本計画を策定し、それに基づいて富山市をはじめ富山商工会議所、富山市中心地区の商店街組合や商業者を中心とする中小企業者などの出資で、平成 12 年 7 月に第三セクターの株式会社として(株)まちづくりとやまが設立されました。資本金は 3 千万円です。もともとそのころには商工会議所において TMO 構想があり、富山市が中心的役割を担ってこの計画に基づき TMO 構想を引き継いで(株)まちづくりとやまが設立されました。設立にあたっては、TMO の法人形態をどうするか協議されましたが、迅速な状況判断と意思決定及び自己責任のとれる組織が必要との判断から、民間主導型の第三セクター型株式会社で設立されました。

現在の(株)まちづくりとやまの組織についてご説明します。代表取締役社長は富山市の副市長が務めております。副社長が常勤と非常勤で 1 名ずつということで、常勤の副社長につきましては富山市の OB、非常勤の副社長は商工会議所の副会頭が務めております。社員についてはプロパー社員はおらず、すべて行政・民間からの出向社員と臨時的嘱託社員・パートという構成となっております。(株)まちづくりとやまの事務所には 12 名の社員がいますが、そのうち 7 名は出向者ということで富山市から 2 名、商工会議所から 1 名、民間会社から 4 名という状況となっております。このほかにも(株)まちづくりとやまが管理運営を行っている複数の施設に臨時嘱託社員もしくはパート社員を配置しており、全体では総勢 47 名の社員がおります。

事業費は設立当初 3 億円程度でしたが、徐々に事業が多くなり、平成 24 年度では 5 億 7 千万円程度となっております。特に平成 19 年に富山市の中心市街地活性化基本計画が国の第 1 号認定を受けてからは、富山市から(株)まちづくりとやまに対して、計画に基づいた様々な事業が委託され、年々業務が増加してまいりました。また(株)まちづくりとやまが展開している事業はソフト事業が中心であり、多くが富山市からの予算の裏付けのある事業となっております。

なお、(株)まちづくりとやまが指定管理者となっている「グランドプラザ」を拠点とした一層の賑わい創出と、今後、まちなかの都市利便増進施設の整備、管理も担っていくことを期待され、昨年 3 月には都市再生整備推進法人に認定されました。

■事業メニュー

(株)まちづくりとやまの事業メニューは、次の通りです。

○賑わい拠点の運営



・「地場もん屋総本店」の運営



・「てるてる亭ほくほく通り」の運営



・賑わい交流館「フォルツァ総曲輪」の運営



・「越中食彩にぎわい横丁」の運営



・街なかサロン「樹の子」の運営



・「富山市まちなか賑わい広場」(Grand Plaza)の運営

○交通アクセスの利便性向上、イベント実施への支援



・コミュニティバス「まいどはや」の運行



・レンタサイクルの運営



・無料駐車システムの運営



・「街なか感謝デー」(駐車場無料開放)の開催

○活性化ソフト施策



- ・「街なかメイクアップサポーター」の運営
- ・「富山まちなか研究室（愛称：MAG.net）」の運営
- ・「ICカード活用商店街ポイントサービス社会実験」の実施

○情報の発信



- ・情報誌「シティ・ウォーカー」の発行
- ・「富山まちなか情報ハブステーション なかもん」(WEB)の整備

○中心市街地活性化組織への支援

- ・中心市街地活性化協議会の事務局運営
- ・中心商店街活性化研究会の事務局運営

○その他

- ・総曲輪ファッションビル（ウィズビル）の管理・運営

以上、様々な事業を展開していますが、以下、中心市街地ににぎわいを呼び込む4つの事業に絞って少し詳しくご紹介します。

◆にぎわい活性化事業1－「富山市まちなか賑わい広場」(グランドプラザ)の運営

富山市まちなかにぎわい広場「グランドプラザ」は、富山市が平成19年に設置した施設ですが、平成22年4月から指定管理者として榎まちづくりとやまが管理運営を行っております。このグランドプラザ

は、再開発事業で富山大和総曲輪 FERIO（以下、総曲輪 FERIO という。）と、グランドパーキングという駐車場を建設する際に併せて整備しました。この地区は、再開発事業前にはいくつも路地がありました。これらの路地を1箇所を集約し、道路区域を廃止して、まちなかの広場として整備したのがグランドプラザです。このグランドプラザを中心に西隣が総曲輪 FERIO、東隣がグランドパーキングといった位置関係にありますので、その両サイドの建物を利用して広場の上空をガラス張りにすることで全天候型に整備したものであります。さらにこの中に277インチの大型ビジョンや倉庫兼用の昇降舞台を設置し、様々なイベントに使っていただけるようにしました。最近では中心市街地の賑わい創出イベントがこのグランドプラザを中心に開催されるようになり、まちなかのシンボリックな施設となってきております。

本ページ下の写真は、グランドプラザで実施されましたイベントの状況です。その左上の写真ですが市役所の職員によるバンドの演奏で、ステージ（昇降舞台）が上がっております。真ん中でサクスを吹いているのが森富山市長です。また、人工の芝生を敷いて幼稚園児のフットサルをしたり、プロボクシングの試合を行ったりもしております。エコリンク事業は冬場の賑わい創出を目的として、氷ではなく樹脂パネルを敷いてスケートをするものです。氷を使いませんので洋服が濡れる心配が無く、電気代の節約を可能とし環境にも優しい施設となっております。12月中旬から1月中旬まで約1か月間、広場にスケートリンクを設けて行っております。入場料金は小学生以下100円、大人でも500円で、市の補助金と企業のご支援により運営しております。子どもたちには大変喜んでいただいております。子どもさんがスケートをしている間に親御さんたちは買い物をする姿も見受けられ、寒い時季の賑わい創出に寄与していると思っております。



市役所職員によるバンド演奏



幼稚園児のフットサル大会



プロボクシングの試合



エコリンク事業

そのほかにも飲食イベントや車両展示会、物産展なども行っております。グランドプラザの利用促進

のために営業活動も行ってありますが、最近では毎年同じように利用していただける主催者様もどんどん増えてきました。またNPO法人グランドプラザネットワークが昨年設立され、こちらが中心になって物産展誘致の営業活動なども行っていただいております。様々な方々が、まちの中心部で何かイベントをやろうということで企画され、積極的にグランドプラザを使っていただける状況になってきております。

昨年の3月に㈱まちづくりとやまが都市再生整備推進法人の認定を受けたことから、国土交通省の民間まちづくり活動促進事業の補助金の活用が可能となり、昨年夏から秋にかけてグランドプラザにおいてミスト装置の設置と音響環境の改善事業を行いました。ミスト装置につきましては、アーケードのある総曲輪通り側とセントラムが走っている平和通り側の南北に設置して、7月から9月末の間で稼働しております。音響環境については、もともと音響設備はありましたが、グランドプラザがガラスで囲まれた特殊空間であることから音が過度に反響するため、改めて質の高い快適な音響空間を演出するために整備したものです。デジタルシグナルプロセッサ（DSP）を採用しまして、ステージからスピーカーまでの距離に応じてデジタル制御で遅らせて音を出すことで会場内の一体感を演出できるシステムになっています。さらにどこにいても綺麗な音を小音量で明瞭に聞くことができるように、高音質スピーカー10台を分散配置しました。

なお、グランドプラザは建築物としての完成度やこれまでの地域社会への貢献度などが認められ、昨年11月に第13回公共建築賞を生活施設部門において受賞致しました。

◆にぎわい活性化事業2－無料駐車システムの運営

まちなかで2千円以上お買い物をしていただくと、その商店が来街者に2時間の無料駐車券をお渡しする事業です。㈱まちづくりとやまが無料駐車券を作成して、事務費などの手数料を加えた金額で商店街振興組合などに販売し、商店街振興組合などが加盟の商店に販売しています。㈱まちづくりとやまにとりましては少しですが自主財源も確保できる事業です。参加駐車場は中心商店街の12箇所、参加店は総曲輪 FERIO や近隣の商店街の加盟店舗です。最も利用が多いのは総曲輪 FERIO のキーテナントである大和富山店です。前述のように総曲輪 FERIO のグランドプラザを挟んだ向かい側にグランドパーキングという大きな駐車場があり、グランドプラザの上空に直通の渡り廊下も整備されています。

また、「まちなか感謝デー」と称して、年5回（延10日間）、10箇所の駐車場を終日無料開放しております。駐車場を借り上げる費用は、各商店街からの負担金とさきほどの自主財源などで賄っております。



左から富山大和総曲輪 FERIO、グランドプラザ、グランドパーキング

◆にぎわい活性化事業3－街なかメイクアップサポーター、富山まちなか研究室（愛称：MAG.net）の運営

平成21年から大学生が「街なかメイクアップサポーター」として自主的に集り、まちなかの活性化について話し合ったり行動したりしてくれています。4ページ左上の写真はグランドプラザでお絵かきプロジェクトという事業で、段ボールを敷き詰めまして幼稚園児などに自由に落書きしてもらうという企画です。このページ中央左下の写真は6月1日に富山市内で行われる山王祭りという大きなお祭りで、昔、商店街で使っていた子どもみこしをお借りして、幼稚園児などと共に担いで歩く企画をするなど、にぎわい創出のためにボランティアとして活動してくれています。その街なかメイクアップサポーターの活動拠点も兼ねて整備したのが富山まちなか研究室MAG.netです。彼らの活動拠点とするとともにまちなかに若い人を取り込もうということで、若い人の「学び場・たまり場・語り場・演じ場」というコンセプトのもとに平成23年の7月にオープンしました。大学生たちが小学生の勉強を手伝うまちなか塾を企画してくれたり、学生たちと商店街や企業が連携してまちなかの活性化について協議する場となったり、いわばプラットフォーム的な存在になってきています。



「街なかメイクアップサポーター」の運営



「富山まちなか研究室（愛称：MAG.net）」の運営

◆にぎわい活性化事業4－連携型情報発信事業

連携型情報発信事業はWEBを使って中心市街地で開催されるイベントを一元管理して情報発信するというもので、昨年9月に「富山まちなか情報ハブステーション なかもん」としてオープンしました。中心市街地のいろいろなところでイベントが開催されていますが、それぞれの施設や団体から個別に情報発信されていたので、利用者が整理された情報を入手するのが大変でした。また、「イベントをやっているすぐ近くまで行っていたにもかかわらず、そこでイベントをやっていたのを知らなかった。次の日、新聞をみて知った。」など、そういう声も多くあり、(株)まちづくりとやまが中心市街地で行われているイベントを全部把握して一元管理して情報発信するために立ち上げました。おかげさまで大変評判が良く、まちなかの回遊性を高めることに役に立っています。

イベント情報を集めるために国の緊急雇用補助金を活用して社員を2名採用し、いろんな施設や団体から情報収集を行っています。今後各施設や団体が直接情報を入力できるシステムを構築することも検討しています。

URL : <http://www.nan-come-on.jp/>

■ 中心市街地活性化組織への支援

また、㈱まちづくりとやまは中心商店街活性化研究会の事務局としての役割を果たしており、中心商店街の総曲輪通り商盛会、中央通り商栄会、西町商店街振興組合などでイベントを行っております。写真は「サマーナイトクリスマス」と称して、8月1日に中心市街地の西側を流れる神通川において行われる花火大会にあわせ、グランドプラザに面する平和通りを歩行者天国にして、飲食を伴いながら花火を見ていただくという、民間主導の大変風情ある催しです。



「サマーナイトクリスマス」の様子

■ ㈱まちづくりとやまのこれから

都市再生整備推進法人の認定を受けて今年度はグランドプラザの施設整備事業を行いました。今までは市が企画立案したものを実行する部隊としてやってきましたが、今後は都市再生整備推進法人として㈱まちづくりとやまの事業展開の活動幅が広がり、地域での存在感が今まで以上に増し、地域に密着した取り組みを先頭に立って展開するとともに、さらには、まちづくり会社として独自性を発揮した着想で中心市街地活性化に寄与する事業を考案し、今後、商店街とより密着した視点から市に対して新たな活性化策を提案していくことができると考えております。

■ 是非富山市にお越しください！

北陸新幹線の工事が着々と進んでいます。先般 JR 富山駅の北側にあるライトレール「ポートラム」とその南側にある環状線「セントラム」を、駅部の高架下で接続させるための手続きの申請を、富山市が国土交通省に行いました。新幹線を降りたら目の前にライトレールの乗り場がある、そういう光景がもう少しで見られるようになります。

もうすぐ春、雪を頂いた立山をバックに咲く桜並木やチューリップ、ほたるいかやしろえび漁のシーズンを迎えます。皆様、是非富山市にお越しください！

■ 筆者略歴

昭和 35 年（1960 年）生まれ、新潟県糸魚川市出身。

富山県立富山商業高等学校卒業後、富山市職員に採用され、平成 23 年から現職。

発行元・問合せ先 公益財団法人都市活力研究所
〒530-0001 大阪市北区梅田 1-12-39 新阪急ビル 9 階
TEL 06-6344-2665/FAX 06-6344-2668